

第 1 回「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」

鹿児島港の現状について



令和4年12月23日

鹿児島県土木部港湾空港課

鹿児島県の港湾

◆ 南北600キロの広大な県土と国内外をむすぶ ◆

【鹿児島県の港湾に関する特徴】

- 南北600kmの広大な**県土に多くの離島**
- 離島の物資の多くは海上輸送により供給
- 人やモノの交流を支える交通ネットワーク
- **全国1位の131港の港湾**
- **国内外を結ぶ多くの定期航路**
- 県内に5つの重要港湾（鹿児島港、志布志港、川内港、西之表港、名瀬港）



◆ 港湾が重要な役割を果たす ◆

- 各国、地域との交流発展や**物流ネットワークの形成**
- 定期船の安定就航により、**島民の暮らし**を支え、
また、**産業振興**にも貢献

港湾の役割と必要性

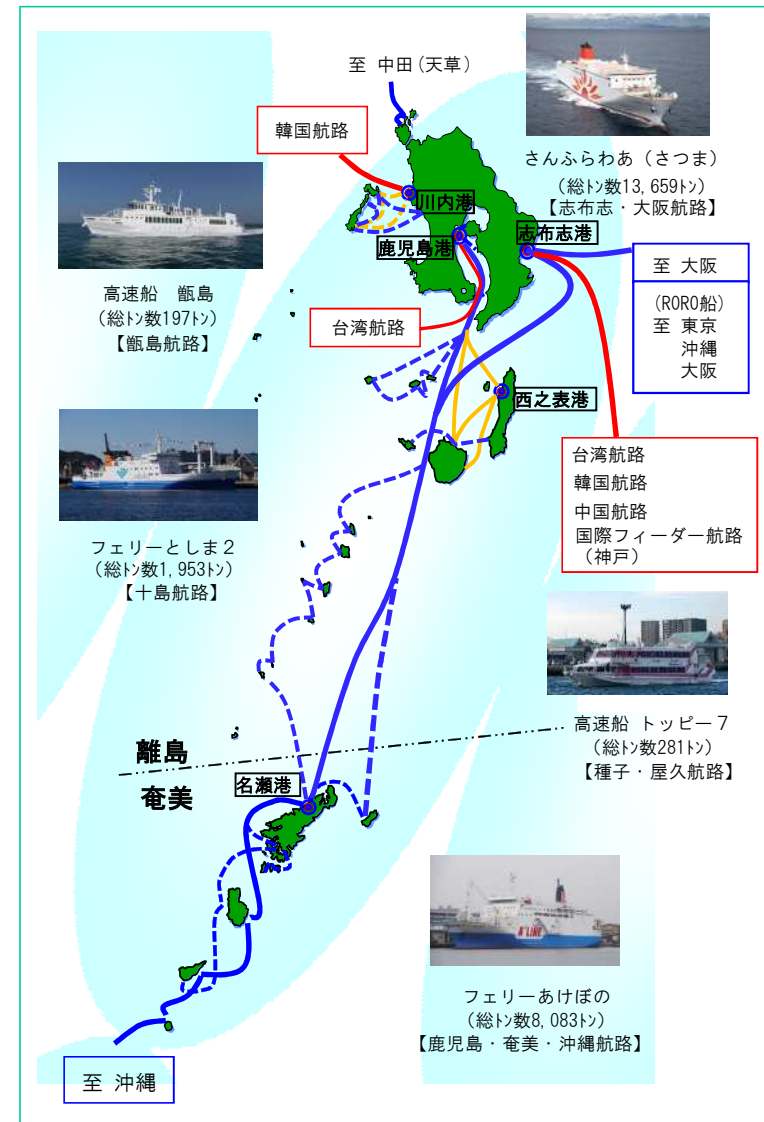
【役割】

定期船の就航による
島民の生活物資の供給



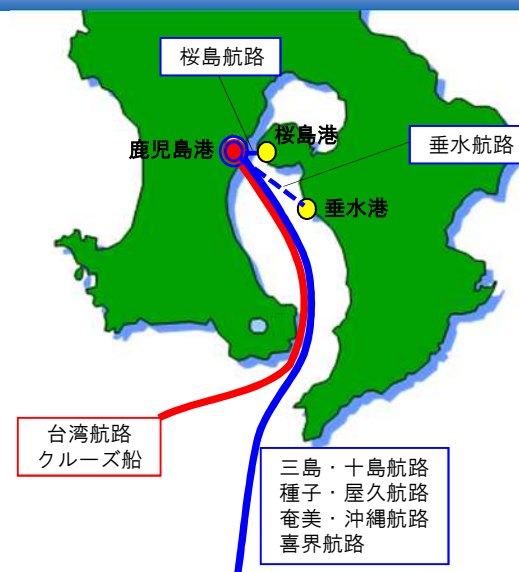
【必要性】

島民の暮らしや産業を支えるため、
各離島に港湾が必要



鹿児島港の概要

- 九州の南端に位置し、藩政時代より貿易港として発展
- 桜島や錦江湾など豊富な自然観光資源を有し、景観にも優れた港湾
- 本土と県内離島・沖縄地方を結ぶ離島航路及び錦江湾内の航路を有する人流・物流拠点
- 国内外のクルーズ船が多数寄港する南九州の海の玄関口
- LNGの輸入や石油製品、重油を取り扱う南九州のエネルギー供給基地及び県内の自動車集積・配送拠点
- 背後圏は、国内有数の畜産地帯。



桜島を結ぶフェリー



離島・沖縄を結ぶフェリー



大隅半島を結ぶフェリー



クルーズ船の受入



LNGの輸入



鹿児島港の概要[取扱貨物量]

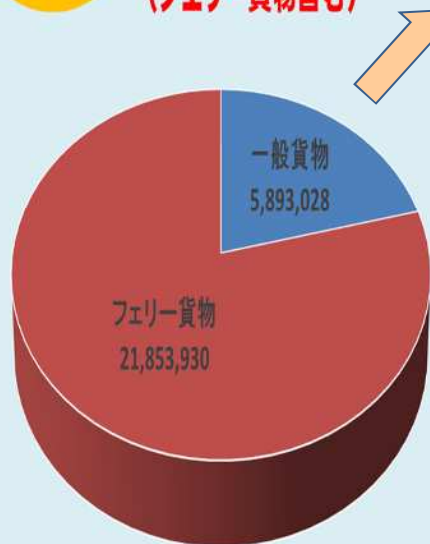
鹿児島港の取扱貨物品目別表 令和2年

総計

2,775万ト
(フェリー貨物含む)

一般貨物 589万ト

輸入 計123万ト



■ フェリー貨物 ■ 一般貨物



移出 計136万ト
(フェリ-含む1,231万ト)



移入 計330万ト
(フェリ-含む1,420万ト)

- 自動車航送車両台数 **158**万台 全国第**1**位
- 船舶乗降人員 **356**万人 全国第**2**位
- 入港船舶隻数 **42,681**隻 全国第**5**位
- 取扱貨物量 **2,775**万トン 全国第**28**位

※令和2年版 港湾統計年報(国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室、港湾局計画課)

鹿児島港におけるクルーズ船の寄港回数



新型コロナウイルス感染症の影響

H30.3 クアナム・オブ・ザ・シーズ(16万トン級)初寄港



要 請

- 立地企業の生産活動の拡大をも念頭においた**物流機能の充実**
- 人・物・情報の行き交う**国際性豊かな交流拠点の形成**
- 健全かつ安全な**海洋性レクリエーション基地の整備**
- 海とふれあえる**魅力ある空間の創造**

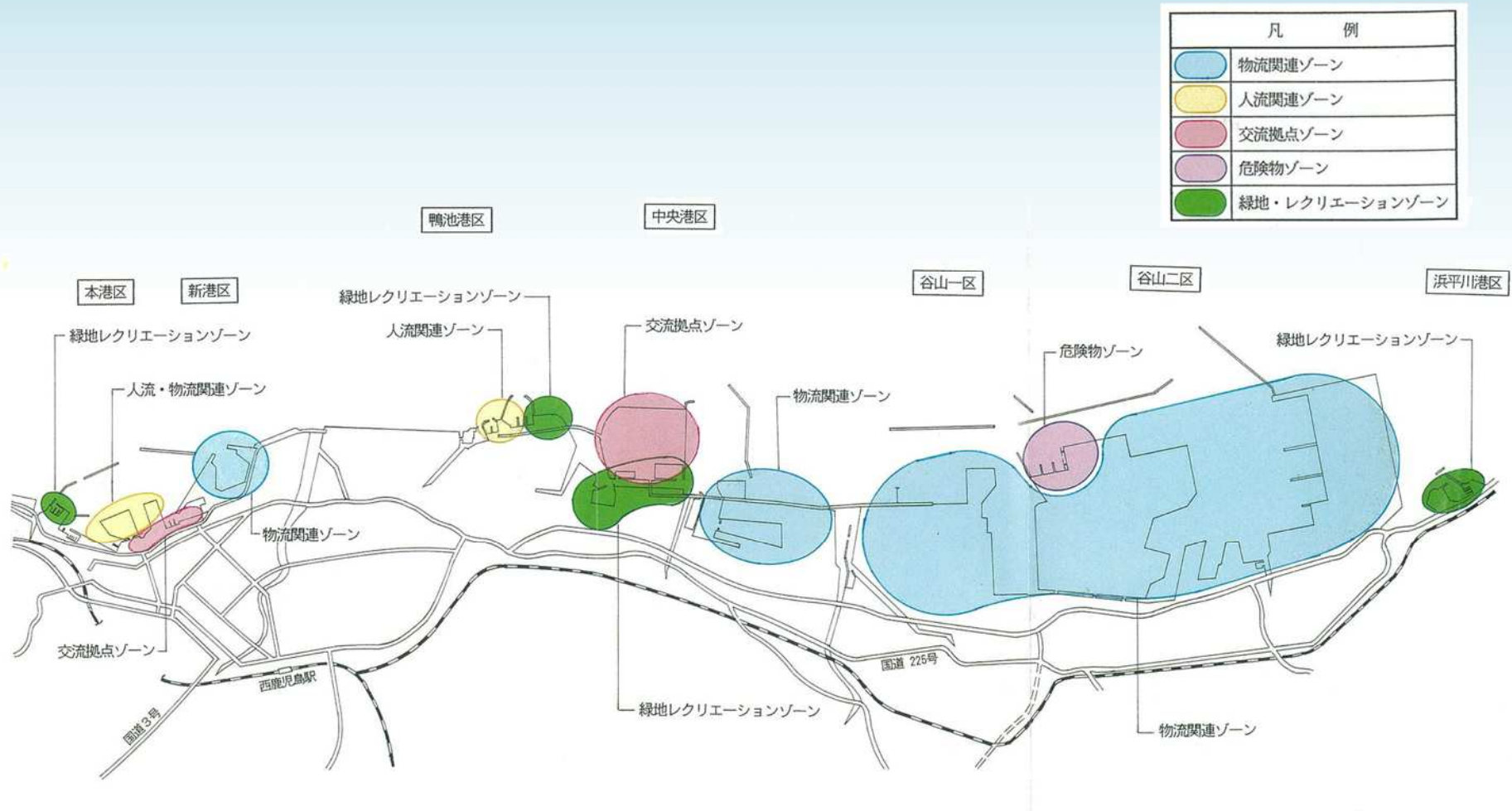


※これらに対処するため、以下の方針のもとに港湾計画を改定（平成5年）

方 針

1. 貨物量の増大，船型の大型化等に対応しつつ，**外内貿流通拠点としての機能を強化**する。
2. 国際交流の進展に対応するとともに，地域住民の交流の促進を図るため，**活気と魅力のある交流拠点の形成**を図る。
3. 島しょ部との間の人流，物流の玄関口にふさわしい**賑わいと憩いのある空間の形成**を図る。
4. 中央港区西側において再開発を行い，周辺市街地と調和した，快適な環境を創出する。
5. 海洋性レクリエーション需要の増大に対応して，**マリーナを中心とした海洋性レクリエーション基地を整備**する。
6. 港湾における豊かで潤いのある快適な環境の創造を図るため，親水性に配慮した**緑地等を整備**する。
7. 遊漁船，漁船，官公庁船等の小型船の適切な収容を図るため，**小型船だまりを整備**する。
8. 港湾と背後地との円滑な連絡を図るとともに，港湾内の円滑な交通を確保するため，**臨港交通体系の充実**を図る。
9. 港湾における諸活動の安全を確保するため、所要の外郭施設を整備する。
10. 効率性，安全性，快適性の高い空間を形成するため，陸域1,200haと水域3,600haからなる**港湾空間を以下のよう**に利用する。
 - ①**本港区東側**は、島しょ部等との間のフェリーを中心とした**人流・物流ゾーン**とする。
 - ②**新港区**は島しょ部向け貨物を，**中央港区南側，谷山一区及び谷山二区中央部**は各種内外貿貨物をそれぞれ取り扱う**物流関連ゾーン**とする。
 - ③**鴨池港区中央部**は**人流関連ゾーン**とする。
 - ④**本港区西側及び中央港区中央部**は**交流拠点ゾーン**とする。
 - ⑤**谷山二区北側**は**危険物ゾーン**とする。
 - ⑥**本港区北側，鴨池港区南側，中央港区西側及び浜平川港区**は**緑地レクリエーションゾーン**とする。

鹿児島港 港湾計画(H5改訂)について【港湾利用ゾーニング図】



鹿児島港の港区別機能

◆鹿児島港の港湾区域は南北20kmに及び、本港区、新港区、中央港区など7つの港区に分かれ、それぞれの港区毎に機能分担が図られている。

鹿児島中心市街地と隣接、憩いの緑地空間
桜島フェリー、種子・屋久航路、三島・十島航路、奄美・喜界航路の発着場

本港区



鴨池・垂水フェリーの発着場

鴨池港区



臨海工業用地、完成自動車の集積・配送拠点、都市ガス等エネルギー供給基地

谷山二区



奄美・沖縄航路、種子島航路の発着場、魚類市場

新港区



クルーズ船が寄港する交流拠点、臨海部防災拠点、LPGの基地

中央港区



九州の穀物物流拠点、総合卸団地やトラックターミナルが立地

谷山一区



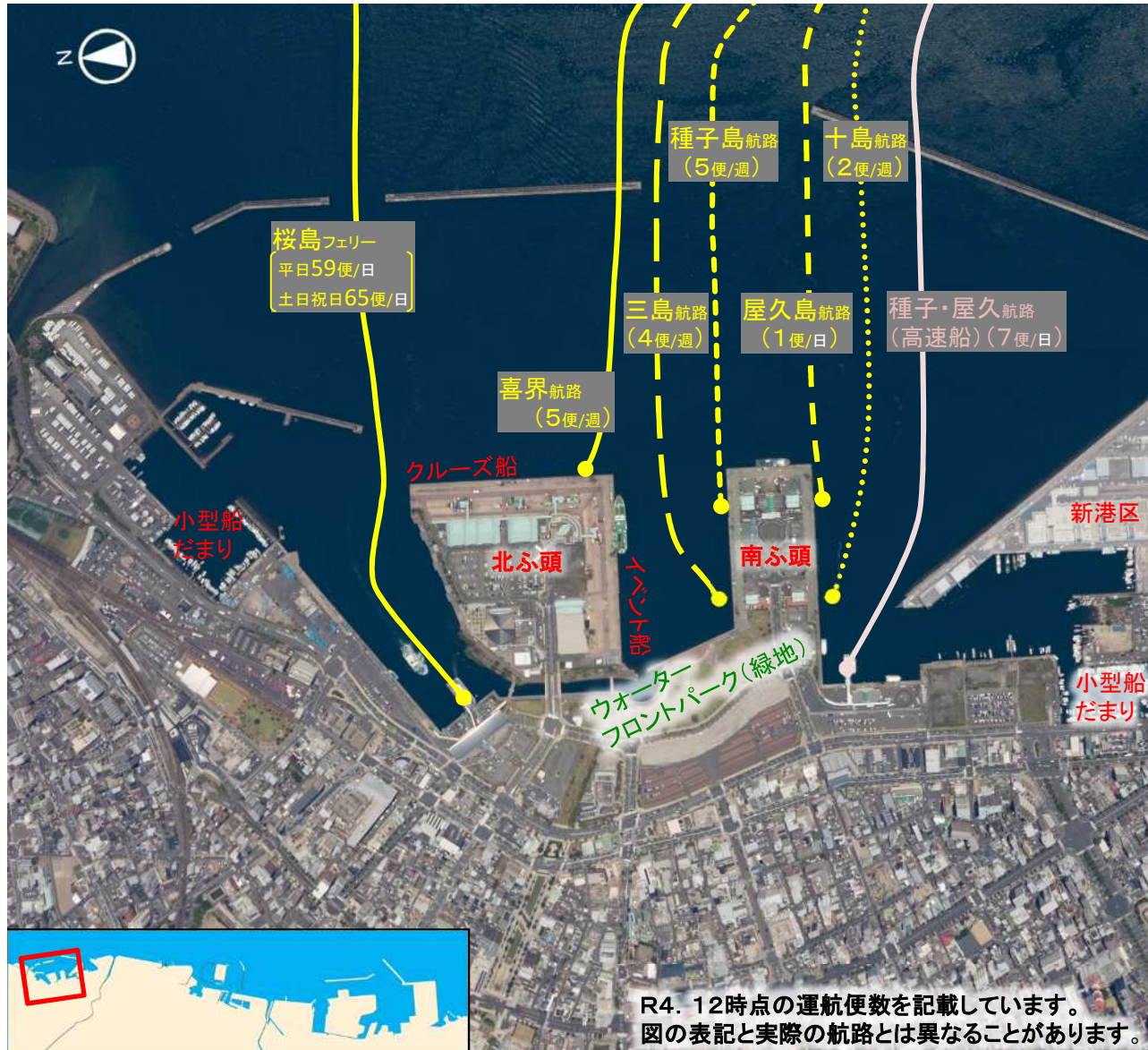
ヨット・プレジャーボート等の基地

浜平川港区



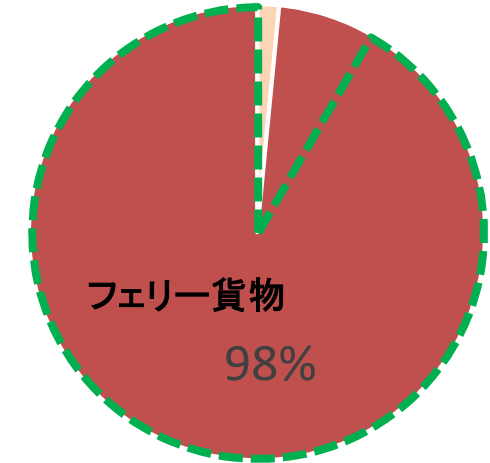
本港区

本港区は鹿児島港の発祥の地であり、鹿児島市の中心街が隣接し、桜島フェリー、種子・屋久航路、十島・三島航路及び喜界航路の発着場となっています。また、ウォーターフロントパークなど人々が憩える緑地空間が整備されています。北ふ頭においては、6万トン級のクルーズ船の受入に対応した岸壁を有しております。



【本港区】取扱貨物

一般貨物 2%



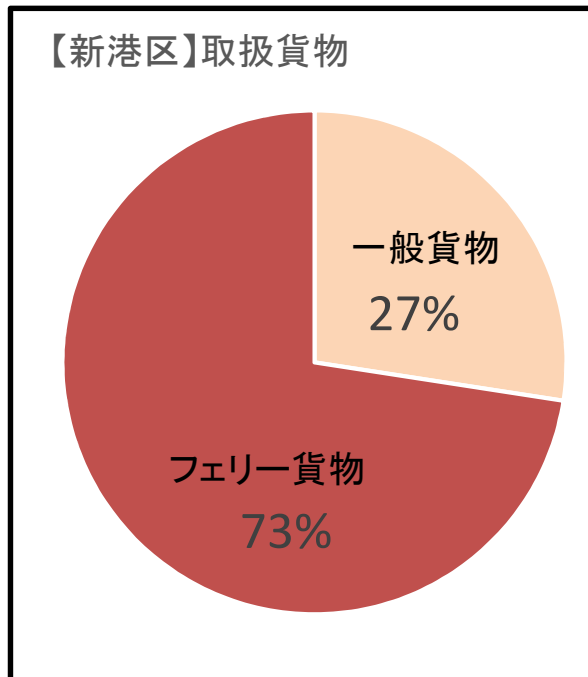
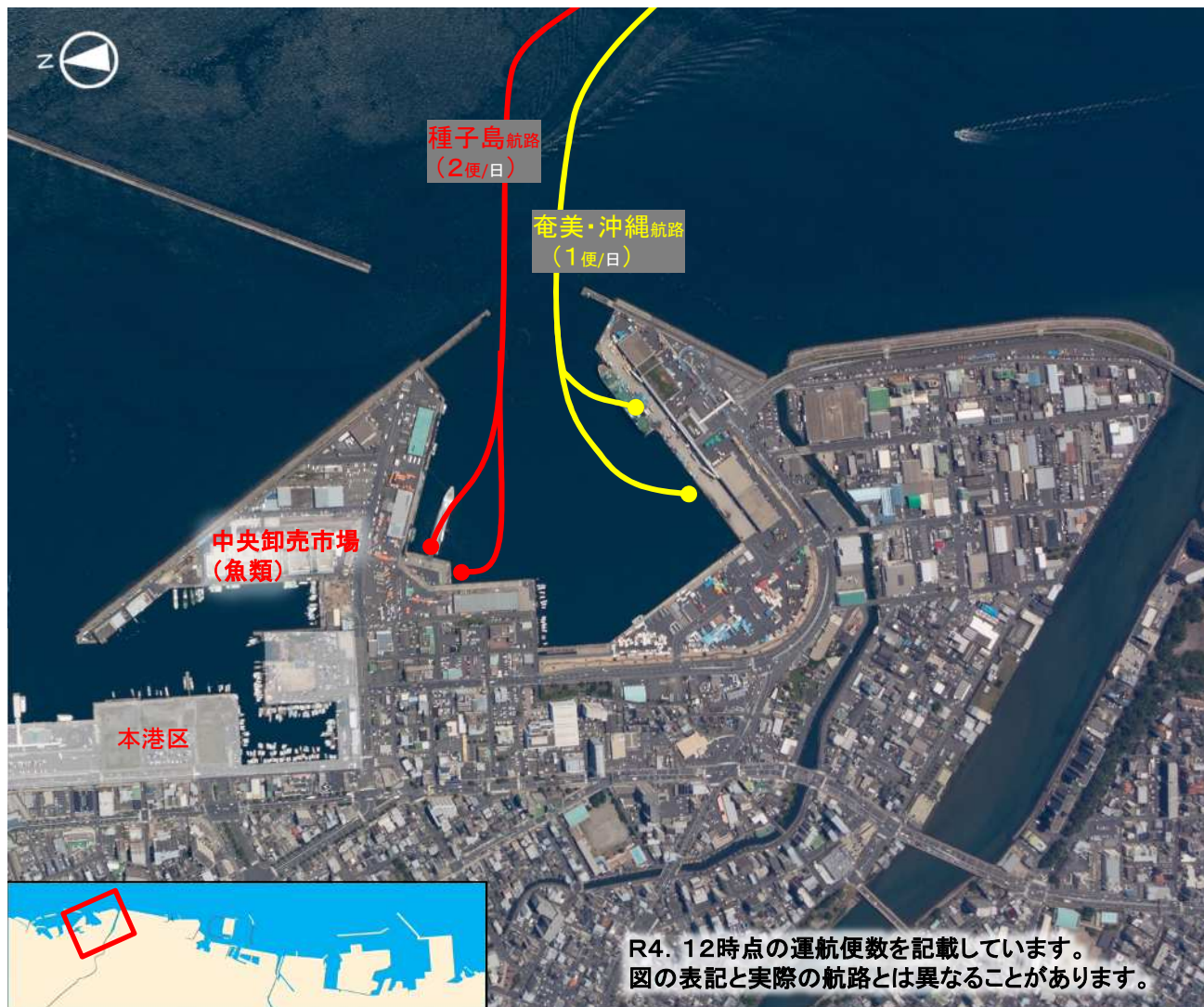
フェリー貨物の93%が桜島フェリー



新港区

新港区は昭和34年～昭和47年に整備され、奄美・沖縄航路や種子島航路の定期船や県内離島へ不定期船の発着場となっています。

奄美・沖縄航路の拠点機能及び防災機能の強化を図るための改修事業が令和2年に完了したことにより、旅客の安全性・利便性や荷役作業の効率性の向上が図られ、世界自然遺産に登録された奄美群島の観光や産業の振興に大きく寄与することが期待されています。



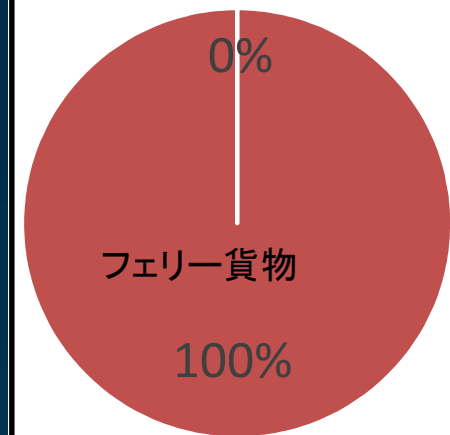
鴨池港区

鴨池港区は昭和47年～昭和50年にわたり旧鹿児島空港跡地に整備され、現在は鴨池・垂水フェリーの発着場となっています。

また、与次郎ヶ浜長水路や海づり公園(鹿児島市管理)が県民の方々に利用されています。



【鴨池港】区取扱貨物



中央港区

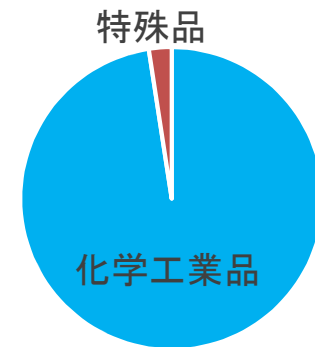
旧南港区は昭和28年～昭和41年に整備され、LPG、金属くず等を取り扱っています。

旧木材港区は昭和40年～昭和49年に外材(原木)等を専門に扱う港区として整備され、現在、港湾利用の変化に伴い、埋立を進めています。(旧南港区、旧木材港区は小型船だまりの整備を計画しています。)

また、大型クルーズ船が停泊するマリンポートかごしまは、大型観光船ふ頭とあわせ、県民や観光客が憩い、海とふれあえる緑地空間の整備を行い、多くの方々に利用されています。



【中央港区】取扱貨物



令和4年5月1日
南日本新聞

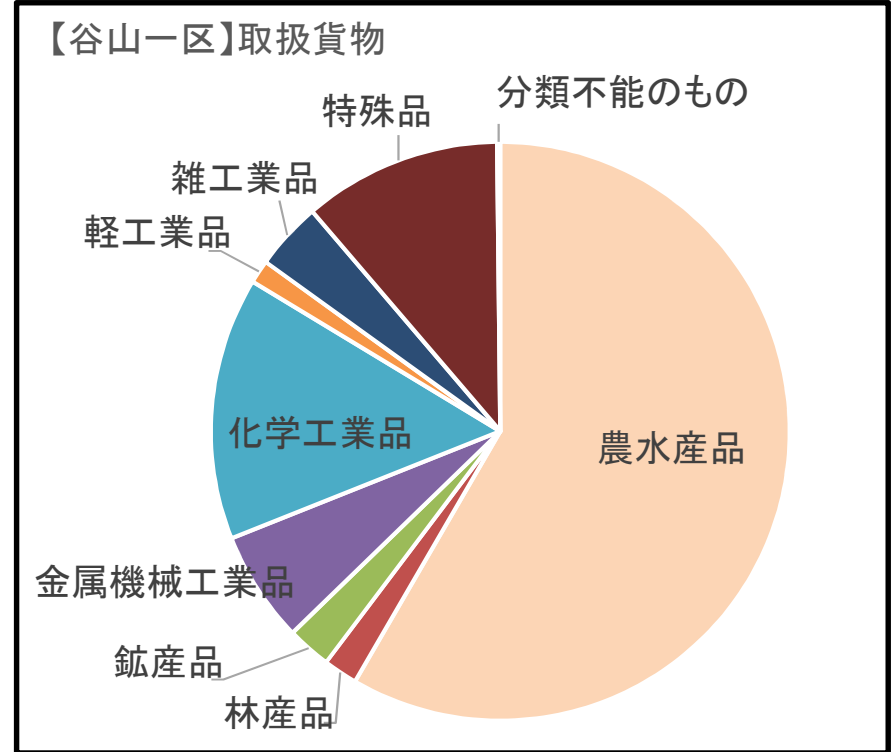
谷山一区は昭和43年～昭和46年にわたり造成された臨海工業用地(2号用地)に隣接して昭和60年までに整備され、セメント、雑穀貨物等を取り扱っています。

2号用地には、南九州を配送圏とする飼料配分基地のほか、総合卸団地やトラックターミナルが立地しており、谷山一区には飼料原料専用船等の外航船及びセメント専用船の大型内航船が入港しています。

また、平成26年6月より、RORO船による台湾航路が就航しています。



R4. 12時点の運航便数を記載しています。図の表記と実際の航路とは異なることがあります。

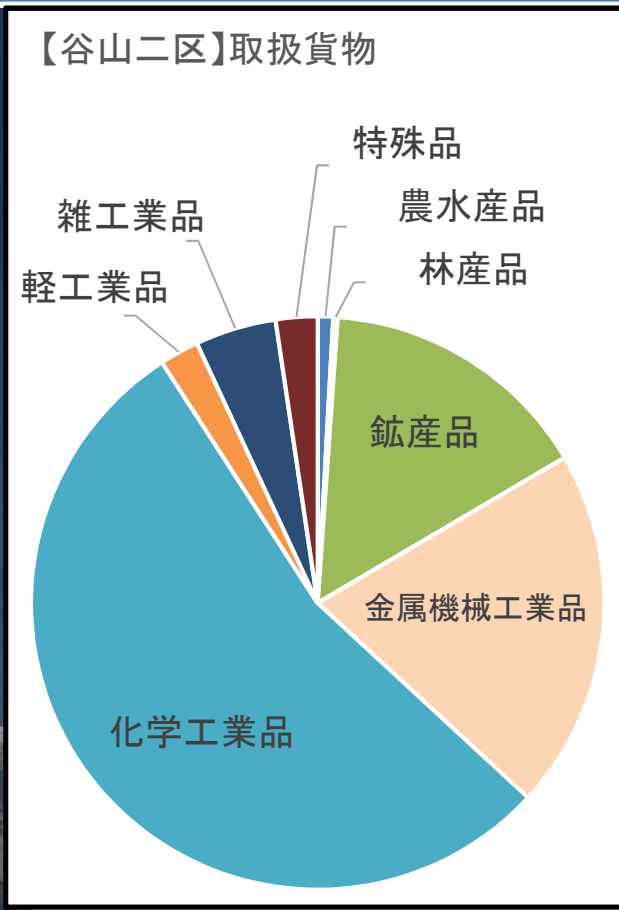
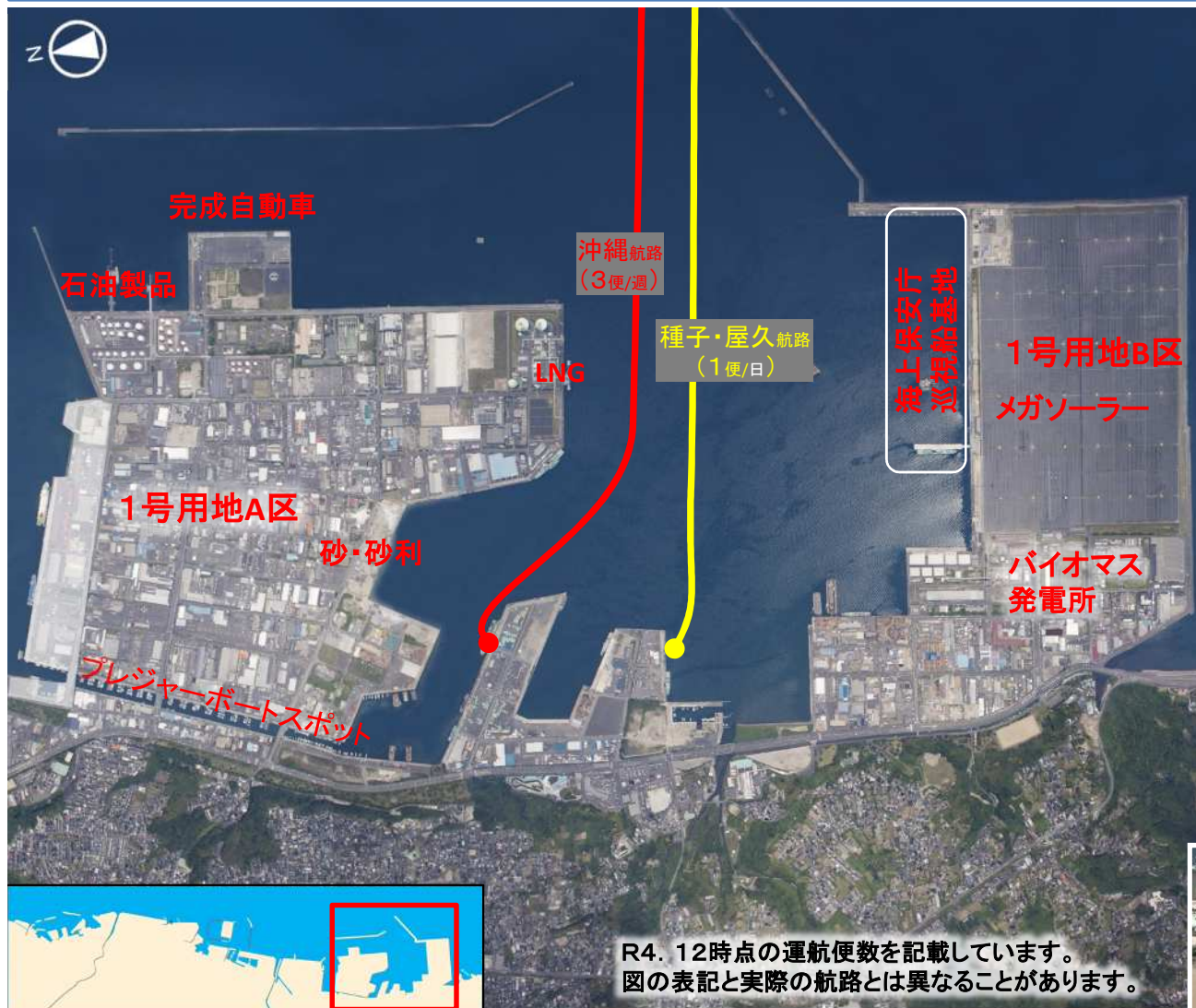


画像：パシフィックグリーンセンターHPより引用

谷山二区

谷山二区は鹿児島港における最大の臨海工業用地(1号用地)から発生する貨物と、増大する背後地域の船舶輸送需要に対応するため、1号用地A区、B区の中央部に昭和46年から整備が進められ、石油製品、完成自動車、砂・砂利等を取り扱っています。

また、平成4年には長水路を利用し、プレジャーボートスポット(PBS)事業により285隻係留可能な小型浮棧橋16基が整備されています。

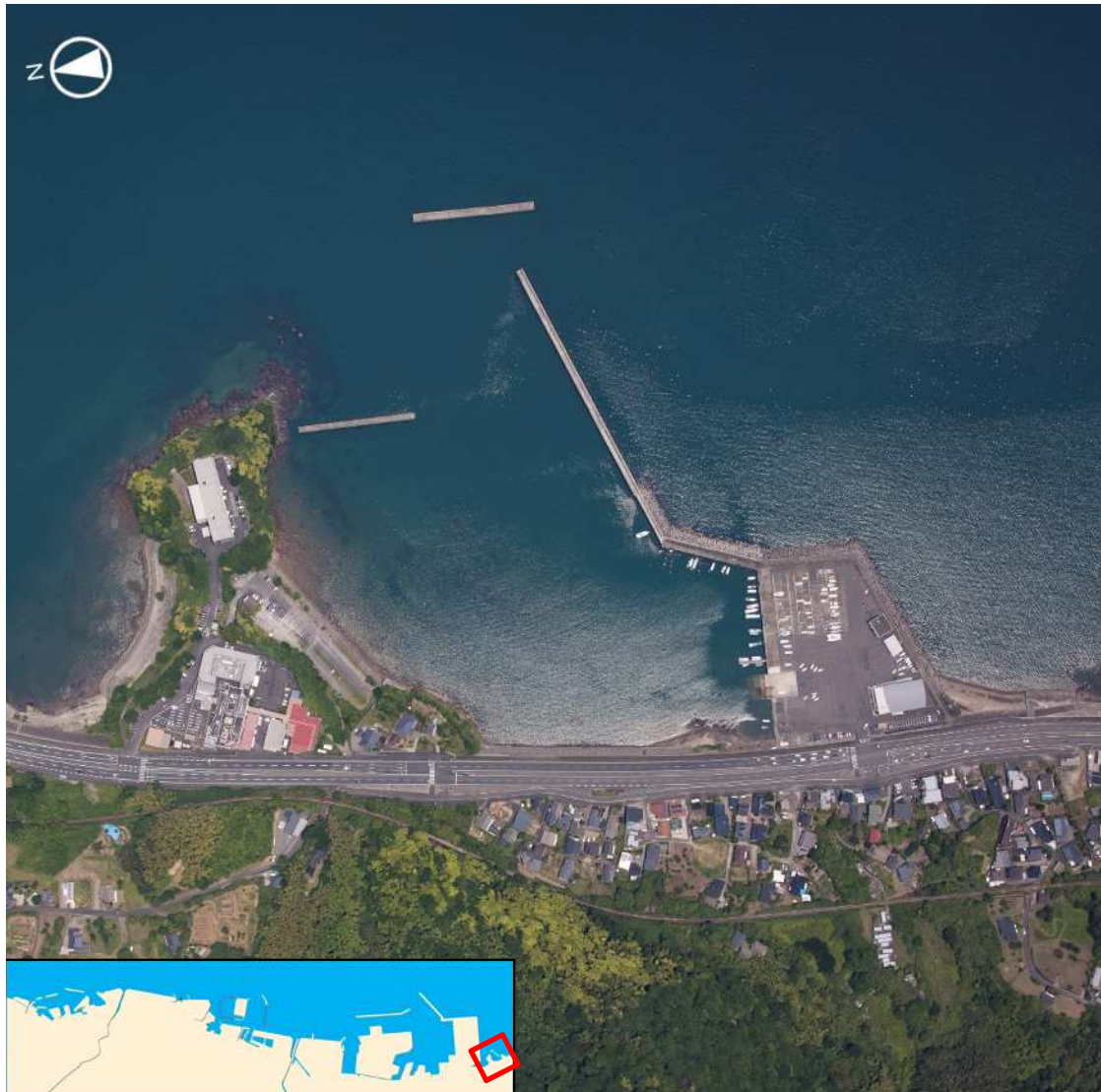


R4. 12時点の運航便数を記載しています。図の表記と実際の航路とは異なることがあります。

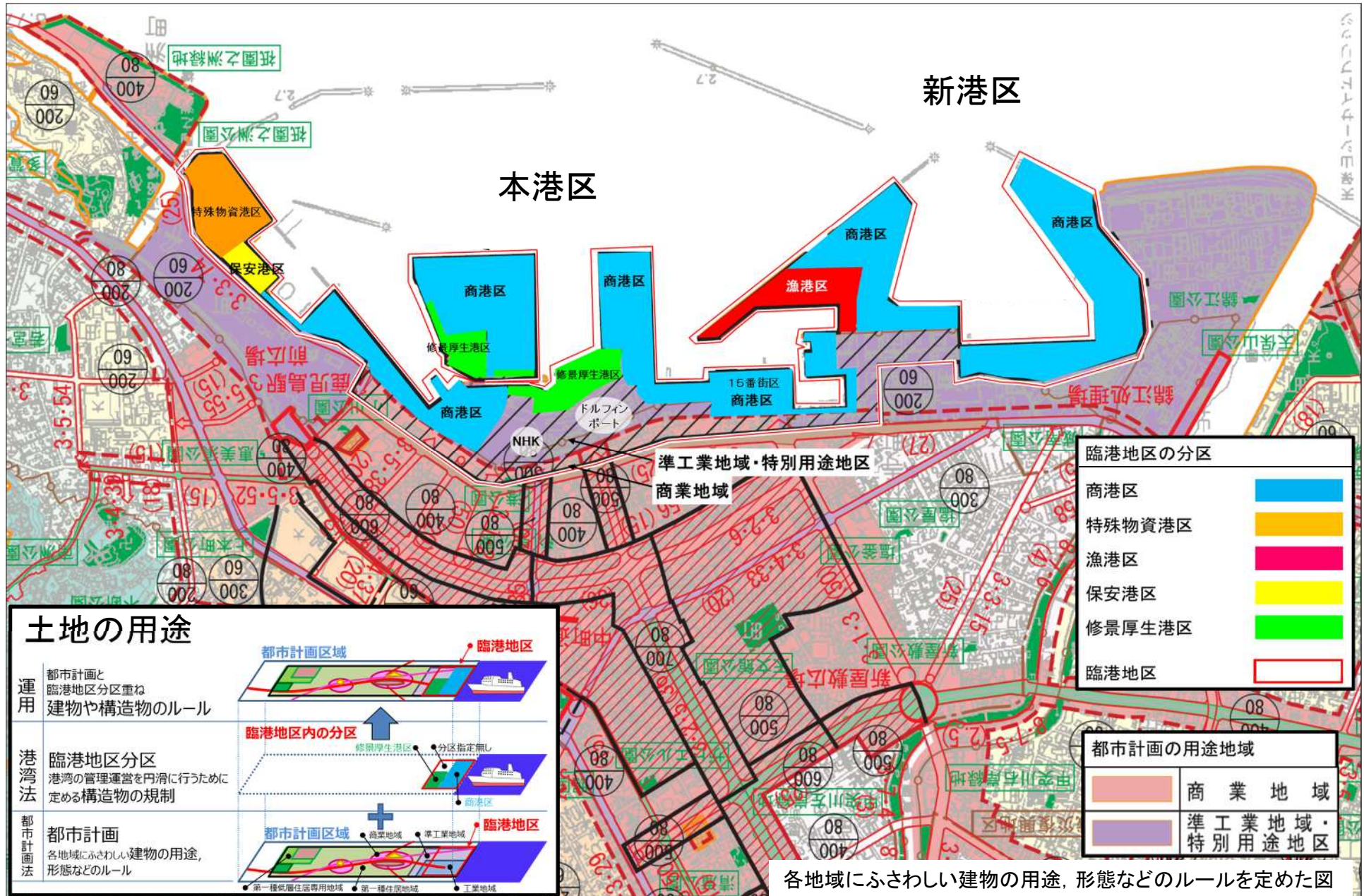
浜平川港区

はまひらかわ

浜平川港区は昭和42年～昭和46年にわたり整備され、昭和47年の太陽国体のヨット競技の会場となりました。それ以降、ヨット・プレジャーボート等の基地として利用されています。また、令和5年のかごしま国体においてもヨット競技の会場となる予定です。



鹿児島都市計画区域(都市計画図・臨港地区分区図)



鹿児島港港湾計画図(本港区・新港区)

